

# アクティブ元年・日本株ファンド

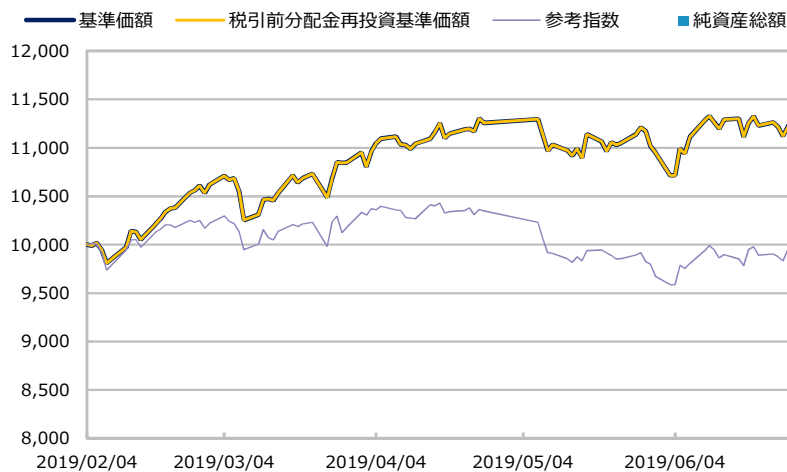
【投信協会商品分類】 追加型投信／国内／株式

作成基準日：2019年06月28日

ファンド設定日：2019年02月05日

日経新聞掲載名：ア元年日本株

## 基準価額・純資産総額の推移（円・百万円）



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。
- 参考指数は、TOPIX（配当込み）です。ファンド設定日前日を10,000とした指数を使用しています。詳細は後述の「ベンチマークまたは参考指数に関する注意事項」をご覧ください。

## 基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	11,295	+343
純資産総額（百万円）	140	+64

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

## 騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド	参考指数
1 か月	2019/05/31	3.1	2.8
3 か月	2019/03/29	4.1	-2.4
6 か月			
1 年			
3 年			
設定来	2019/02/05	13.0	-0.6

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- 換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

## 最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
設定来累計		

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

## 資産構成比率（%）

	当月末	前月比
株式	97.0	+0.3
第1部	74.9	-0.9
第2部	7.8	+2.1
ジャスダック	1.7	-0.0
その他	12.6	-0.9
先物等	0.0	0.0
現金等	3.0	-0.3
合計	100.0	0.0

## 運用概況

当月末の基準価額は、11,295円（前月比+343円）となりました。

また、税引前分配金を再投資した場合の月間騰落率は、+3.1%となりました。

※ この資料の各グラフ・表に記載されている数値は、表示桁未満がある場合は四捨五入して表示しています。  
 ※ この資料に記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全てファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



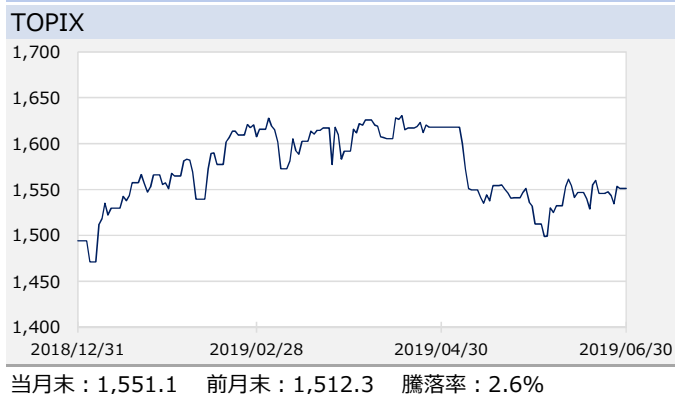
三井住友DSアセットマネジメント

# アクティブ元年・日本株ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／国内／株式

作成基準日：2019年06月28日

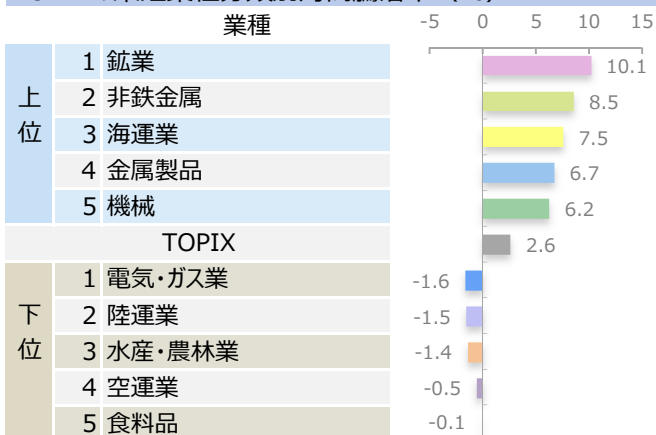
## ご参考 市場動向



## 日経平均株価 (円)



## TOPIXの東証業種分類別月間騰落率 (%)



※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

## 市場動向

上旬は、米国と各国間の貿易摩擦の激化が懸念される場面があったものの、パウエルFRB（米連邦準備制度理事会）議長の発言を受けて利下げ期待が高まったことや、米国の対メキシコ関税発動見送りなどにより国内企業の業績不安が後退したことを受けて、概ね堅調に推移しました。中旬は、大規模デモの混乱から香港株式市場が下落したことや、米ハイテク企業の業績悪化懸念が株価を下押しした一方、ドラギECB（欧州中央銀行）総裁が追加緩和を示唆する発言をしたことや、FRBによる利下げへの期待が下支えし、一進一退の展開となりました。下旬も、米中首脳会談を控え、方向感の乏しい展開となりました。

業種別では、鉱業、非鉄金属、海運業などが市場をアウトパフォームした一方、電気・ガス業、陸運業、水産・農林業などが市場をアンダーパフォームしました。

## 市場見通し

株式市場は、世界景気および企業業績の先行き懸念から、不安定な展開を予想します。世界景気は、米中貿易摩擦の影響を受けて主要国の製造業景況感が悪化するなど、不透明感が高まっているものの、主要各国の緩和的な金融政策や財政政策が下支えすることにより、景気の底割れは回避できるものと考えます。当面の株式市場については、6月末のG20（主要20カ国・地域）首脳会合における米中首脳会談において、通商協議の再開、対中追加関税見送りで合意したことが、株式市場で好感される可能性があります。しかし、貿易問題を巡る米中間の対立は続くため、世界景気には引き続き下押し圧力がかかることなどから、株式市場は不安定な展開を想定します。

■ 設定・運用



# アクティブ元年・日本株ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／国内／株式

作成基準日：2019年06月28日

## 基準価額の変動要因（円）

全体		業種別要因		銘柄別要因			
	寄与額		寄与額		寄与額		
株式	+353	上位	1 サービス業	+146	上位	1 ジャパンベストレスキューシステム	+35
先物・オプション等	0		2 小売業	+58		2 LITALICO	+31
分配金	0		3 その他製品	+54		3 ツルハホールディングス	+28
その他	-10		4 卸売業	+36		4 トランザクション	+28
合計	+343		5 化学	+21		5 ライク	+27
		下位	1 電気・ガス業	-19	下位	1 電算システム	-31
			2 保険業	-15		2 ビジョン	-25
			3 機械	-10		3 メディアハウスホールディングス	-19
			4 金属製品	-3		4 レノバ	-19
			5 輸送用機器	-1		5 キュービーネットホールディングス	-16

※ 基準価額の月間変動額を主要要因に分解したもので概算値です。

## 組入上位10業種（%）

	当月末	前月比	
1 サービス業	25.5	+4.3	25.5
2 情報・通信業	13.6	+0.8	13.6
3 小売業	10.7	+0.9	10.7
4 その他製品	8.4	-0.1	8.4
5 卸売業	7.2	-0.2	7.2
6 化学	6.8	-0.2	6.8
7 電気機器	3.8	-0.1	3.8
8 医薬品	2.4	+0.2	2.4
9 陸運業	1.9	+0.0	1.9
10 輸送用機器	1.9	-0.0	1.9

※ 業種は東証業種分類です。

## アクティブ元年・日本株ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／国内／株式

作成基準日：2019年06月28日

## 組入上位10銘柄（％）

（組入銘柄数 67）

銘柄	業種	比率	コメント
1	ライク サービス業	2.2	人材派遣を主力事業としており、M&Aにより保育、介護の事業にも参入しています。中期的には需要の強い保育、介護事業の成長に加えて、特定派遣人材の活用や外国人材紹介など人材事業の拡大も期待しています。
2	メンバーズ サービス業	2.1	大手企業にデジタルマーケティング総合支援専任チームを提供するEMC事業、IT企業に同社の正社員を派遣するデジタル人材業を展開しています。顧客企業における人材不足、IT人材の採用拡大に伴い、需要拡大が期待されます。
3	三機サービス サービス業	2.0	業務用空調機器のメンテナンス事業に加え、電気設備、水回り、内装、冷凍・冷蔵設備も含めたトータルメンテナンス事業や、省エネ事業でビジネスを拡大しています。さらにサービスメニューを追加していくことによる収益拡大が期待されます。
4	トランザクション その他製品	2.0	一般雑貨・エコ雑貨製品の企画・デザインから生産・販売まで一貫した事業展開をしています。エコバッグ、タンブラー・ボトルなど企業の販促グッズとして使用されるものが多く、近年進めている顧客囲い込み戦略に注目しています。
5	綿半ホールディングス 小売業	2.0	ホームセンター事業と建設事業が2本柱です。ホームセンターでは食品導入により顧客の購買頻度を高め、収益性が改善しています。M&Aしたスーパーマーケット、ホームセンターでシナジーがはじまっており、最近M&Aした通販サイトでも期待しています。
6	オイシックス・ラ・大地 小売業	2.0	主に有機野菜やミールキット（食材セット）の宅配事業を手掛けています。「大地を守る会」「らでいっしゅぼーや」等を買収し、事業規模を拡大しています。買収による顧客基盤拡大に加え、NTTドコモとの提携に伴うミールキットの販売拡大などが期待されます。
7	前田工織 その他製品	2.0	公共工事向け中心の土木資材や建築資材が成長しているほか、過去にM&Aした自動車のタイヤホイールも売上・利益を伸ばしています。2018年にM&Aを実施したヘルスケア領域での事業拡大による中期的成長を期待しています。
8	薬王堂 小売業	2.0	東北地方でドミナント展開するドラッグストアです。ローコストオペレーション、新規出店による事業拡大が成長を支えています。ヘルスケアへの取組み、メーカーと協調した販促ビジネスへの取組みなどに注目しています。
9	スノーピーク その他製品	2.0	アウトドア用品の大手です。顧客起点で開発したオリジナル商品を展開し、強いブランド力を有します。売場の拡大や新商品投入などによる業績の拡大が期待されます。また、地方創生事業やアウトドアオフィス事業などの新規事業も展開しています。
10	ハマキョウレックス 陸運業	1.9	物流センター運営受託と貨物自動車運送事業を展開しています。物流センター運営受託では日々収支管理の徹底など高い業務品質が評価されています。新規受託案件の積上げに加え、貨物自動車運送事業での料金改定による収益改善が期待されます。

※ 組入銘柄の紹介を目的としており、記載銘柄の推奨を行うものではありません。また、記載内容は作成時点のものであり、将来予告無く変更されることがあります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

 三井住友DSアセットマネジメント

# アクティブ元年・日本株ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／国内／株式

作成基準日：2019年06月28日

## 【当ファンドの運用チーム（TEAM ACTIVE）のご紹介】

### 古賀 直樹 Naoki Koga

株式運用第一部 シニアファンドマネージャー

1997年に千代田生命保険（現ジブラルタ生命保険）に新卒入社し、翌年から国内株式運用業務に従事。その後、2001年3月にトヨタアセットマネジメント（現三井住友DSアセットマネジメント）に入社。同社を代表するアクティブファンドであるトヨタアセット配当フォーカスオープン（現三井住友・配当フォーカスオープン）の運用を立ち上げから約10年間担当し、リスクを抑えつつ市場平均を上回る良好な実績を残す。三井住友DSアセットマネジメントでは現チームに参加し、徹底したリサーチに基づく銘柄選択手法に磨きをかけ、同チームの機関投資家向けファンドの実績に貢献。「ファンドマネージャーとしての仕事はお客さまに支えられて存在している」ということを信条とし、常にプロとしての責任感を心に刻みながら、日々企業訪問・リサーチに奔走している。



金子 将大

Masahiro Kaneko  
ファンドマネージャー

木田 裕

Hiroshi Kida  
シニアファンドマネージャー

梅原 康司

Koji Umehara  
シニアファンドマネージャー



三井住友DS  
投信直販ネット  
TOPページ



最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

 三井住友DSアセットマネジメント



## アクティブ元年・日本株ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／国内／株式

作成基準日：2019年06月28日

## ファンドマネージャーコメント

## ＜運用経過＞

当ファンドでは、6月末に67銘柄に投資しており、前月末に比し8銘柄増となっています。

6月は、4人のファンドマネージャーが決算発表後の企業に対する取材を数多く実施しました。そうした中で、新たな投資対象企業の選別も進み、ファンドへの資金流入もあって、積極的な買入れを行いました。6月に新規に買入れたのは12銘柄となります。

一方で、株価上昇ペースが速かった銘柄などを中心に利益確定の売却も実施しており、そのうち4銘柄は全売却しました。

## ＜ファンドマネージャーに聞きました＞

2019年2月5日より、投信直販ネット専用で、当ファンドの取扱いを開始いたしました。以下、運用を担当する古賀シニアファンドマネージャーの運用方針や考え方等を、Q&A形式でお知らせいたします。

## Q1.

今回は当ファンドの運用チームについてお聞きします。

まずは運用チームの特徴や実績、運用に対する考え方を教えてください。

## A1.

このファンドは、当レポートの5ページ目に写真の掲載がある4名のチームで運用しています。

私たち運用チームの特徴は、**ファンドマネージャーが自ら積極的に企業にコンタクトして、企業取材をしていること**です。4人のファンドマネージャーがそれぞれ「**ちょっと先の未来に、企業価値の高まっている企業、市場評価が高まっている企業**」を探すべく、自ら取材企業を選び出し、実際に企業の経営陣やIR（投資家向け広報）担当者と面談して、企業に対する理解を深めたうえで、投資判断しています。そうした活動の継続により、このチームでは、機関投資家向けの中小型株運用で実績を上げてきています。

また、**豊富な運用経験**も当運用チームの特徴の1つと考えています。

**4名のうち3名は20年以上も国内株式運用業務に携わっており、それぞれが数多くの企業取材を年々積み上げてきました。**また、ライブドアショックやリーマンショックなど国内株式市場が厳しかった局面も経験しており、その経験はその後の運用の糧となっています。もう1名も経験年数こそ及びませんが、デジタル化が進展する中で生まれているベンチャー企業、スタートアップ企業の取材を積極的に重ねており、新規ビジネスの知見を積み上げ、銘柄選択の幅を拡げています。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

 三井住友DSアセットマネジメント

# アクティブ元年・日本株ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／国内／株式

作成基準日：2019年06月28日

## ファンドマネージャーコメント

Q2.

運用チームの強みはどのような点にありますか。

A2.

私たち運用チームの強みは「**徹底的なリサーチの積み重ね**」にあると考えています。

この**4名のファンドマネージャーで年間2,000件を超える企業取材を実施**しています。企業規模や業種にとらわれることなく、「ちょっと先の未来に、企業価値の高まっている企業、市場評価が高まっている企業」という観点で、真摯に、企業取材を積み重ねてきています。**取材後に株価がどう動いたのかということも含めた実戦での経験値は、ちょっと先の企業の未来の姿を見通すうえでの道標になっていると考えています。**

また、この積み重ねの中には、10年以上継続して取材をしている企業があったり、企業取材の中でお聞きした話が、次の取材対象企業を探し出す切り口となるケースも多くあります。企業取材を積み上げてきたからこそその知見の深さや幅広さも、私たち運用チームの財産になっており、当ファンドのパフォーマンスの安定と成長に寄与していくものと考えています。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

# アクティブ元年・日本株ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／国内／株式

作成基準日：2019年06月28日

## ファンドの特色

1. アクティブ元年・日本株マザーファンド（以下「マザーファンド」ということがあります。）への投資を通じて、日本の取引所に上場している株式（上場予定銘柄を含みます。）に投資します。
  2. 徹底したボトムアップ・リサーチに基づき、企業規模にとらわれることなく企業価値の向上や市場評価の見直しが期待される銘柄を選別します。
    - 定量評価・定性評価の両面から、企業価値の向上が見込める銘柄を選別します。
      - 定量評価…成長力、利益率、安全性、バリュエーション等
      - 定性評価…企業取材から得た情報を基にした投資アイデア、経営戦略、マネジメント力、商品開発力、競争力等
    - ポートフォリオ構築にあたっては、目標株価水準に比べ割安な銘柄を組み入れるとともに、流動性を勘案して分散を図ります。
- ※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

## 投資リスク

### 基準価額の変動要因

ファンドは、主に日本の株式を投資対象としています（マザーファンドを通じて間接的に投資する場合を含みます。）。ファンドの基準価額は、組み入れた株式の値動き、当該発行者の経営・財務状況の変化等の影響により上下します。**基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込む**ことがあります。

運用の結果としてファンドに生じた**利益および損失は、すべて受益者に帰属**します。したがって、ファンドは**預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく**、一定の投資成果を保証するものでもありません。ファンドの主要なリスクは、以下の通りです。

### ■ 株式市場リスク

内外の政治、経済、社会情勢等の影響により株式相場が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、個々の株式の価格はその発行企業の事業活動や財務状況、これらに対する外部的評価の変化等によって変動し、ファンドの基準価額が下落する要因となります。特に、企業が倒産や大幅な業績悪化に陥った場合、当該企業の株式の価値が大きく下落し、基準価額が大きく下落する要因となります。

### ■ 信用リスク

ファンドが投資している有価証券や金融商品に債務不履行が発生あるいは懸念される場合に、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

### ■ 市場流動性リスク

ファンドの資金流入に伴い、有価証券等を大量に売買しなければならぬ場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、必要な取引ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

## その他留意点

〔分配金に関する留意事項〕

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- 投資資産の市場流動性が低下することにより投資資産の取引等が困難となった場合は、ファンドの換金申込みの受け付けを中止すること、および既に受け付けた換金申込みを取り消すことがあります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

 三井住友DSアセットマネジメント



## アクティブ元年・日本株ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／国内／株式

作成基準日：2019年06月28日

## お申込みメモ

## 購入単位

- スポット購入の場合：1万円以上 1円単位
- 定期積立プランの場合：1千円以上 1千円単位

## 購入価額

- 購入申込受付日の基準価額となります。
- ただし、累積投資契約に基づく分配金の再投資の場合は、各計算期末の基準価額となります。

## 購入代金

- 販売会社の指定の期日までに、指定の方法でお支払いください。

## 換金単位

- 口数指定の場合：1口単位
- 金額指定の場合：1円単位

## 換金価額

- 換金申込受付日の基準価額から信託財産留保額（0.15%）を差し引いた価額となります。

## 換金代金

- 原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目以降にお支払いします。

## 信託期間

- 無期限です。（信託設定日：2019年2月5日）

## 決算日

- 毎年1月20日（休業日の場合は翌営業日）

## 収益分配

- 決算日に、分配方針に基づき分配金額を決定します。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。
- 原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。

## 課税関係

- 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
- 配当控除の適用が可能です。

## ファンドの費用

## 投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料  
無手数料です。
- 信託財産留保額  
換金時に、1口につき、換金申込受付日の基準価額に0.15%の率を乗じた額が差し引かれます。

## 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用（信託報酬）  
ファンドの純資産総額に年1.0584%（税抜き0.98%）の率を乗じた額です。
- その他の費用・手数料  
上記のほか、ファンドの監査費用や有価証券の売買時の手数料、資産を外国で保管する場合の費用等（それらにかかる消費税等相当額を含みます。）が信託財産から支払われます。これらの費用に関しましては、その時々取引内容等により金額が決定し、運用状況により変化するため、あらかじめ、その金額等を具体的に記載することはできません。
- ※ ファンドの費用（手数料等）の合計額、その上限額、計算方法等は、投資者の保有期間に応じて異なる等の理由により、あらかじめ具体的に記載することはできません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用


 三井住友DSアセットマネジメント

## アクティブ元年・日本株ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／国内／株式

作成基準日：2019年06月28日

## 税金

## 分配時

所得税及び地方税 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%

## 換金（解約）及び償還時

所得税及び地方税 譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

- ※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。
- ※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## 委託会社・その他の関係法人等

委託会社	<p>ファンドの運用の指図等を行います。</p> <p>三井住友DSアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号          加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、          一般社団法人第二種金融商品取引業協会</p> <p>三井住友DS投信直販ネット ホームページ：<a href="https://tyokuhan-net.smam-jp.com/">https://tyokuhan-net.smam-jp.com/</a>          投信直販お客さま窓口 フリーダイヤル：0120-45-1104 [受付時間] 午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）</p>
受託会社	<p>ファンドの財産の保管および管理等を行います。</p> <p>三井住友信託銀行株式会社</p>
販売会社	<p>ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。</p>

# アクティブ元年・日本株ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／国内／株式

作成基準日：2019年06月28日

## 販売会社

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融商品取引業協会	日本一般社団法人 投資顧問業協会	金融先物取引業協会 一般社団法人	一般社団法人 投資信託協会	備考
三井住友DSアセットマネジメント株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号		○	○		○	

## ベンチマークまたは参考指数に関する注意事項

- TOPIXは、株式会社東京証券取引所が公表する指数であり、その指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利は株式会社東京証券取引所に帰属します。また、当ファンドを同社が保証するものではありません。

## 当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に関し述べられた運用方針・市場見通しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡する最新の投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等は販売会社にご請求ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。

■ 設定・運用

